

2市8町に施策・予算要望

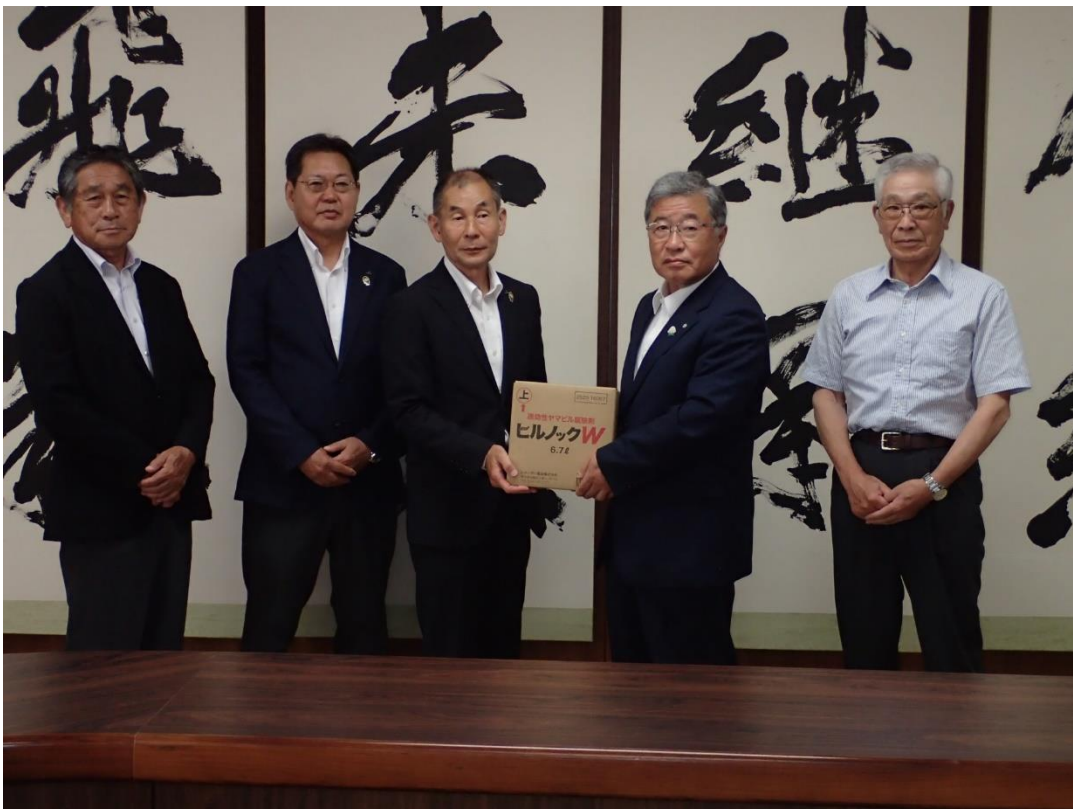
J Aかながわ西湘は管内の2市8町に対する2025年度農林施策・予算要望の提出を行いました。8月5日には天野信一組合長、農政対策委員や理事ら6人が小田原市の加藤憲一市長へ農業振興に向けた要望書を手渡し、農業に対する施策を求めました。

要望書は支店運営委員会や農政対策委員会で意見を積み上げたものでそれぞれの首長に理解を求め、共通部門では食料安全保障施策や経営所得安定対策、農業経営基盤強化対策、有害鳥獣対策など6項目。個別部門では用水路整備や道路整備など地域の実態を踏まえ要望を掲げました。

加藤市長は「自然環境の恵みがあふれるまちづくりのため、小田原市の地域資源を守るため、いのちを育てる農業をJ Aとともに振興していきたい」と理解を示されました。

また、丹沢の麓の山間部の地域ではヤマビルが多く発生。農業者の栽培意欲減退にもつながりかねないことから山北町、松田町、大井町と南足柄市に対しては要望書の提出に合わせてヤマビル駆除剤の「ヒルノックW」を寄贈しました。

※ヤマビル駆除剤の寄贈についてはJ A共済地域貢献活動の支援を受けて行っています。



ヤマビル駆除剤を手渡す宇留間優専務（㊤から3人目）